

2021年4月16日 第3350回例会

於： 横須賀商工会議所



- <点鐘・開会> 12:30 岡田 会長
<斉 唱> 「中華民国国歌」「君が代」
<ゲスト紹介> *台北駐日経済文化代表処横浜分処長 張 淑玲 様
*台湾中小企業銀行東京支店 支店 張 承鴻 様
*台湾中小企業銀行東京支店 専員 石 田 真佐人 様
*台湾中小企業銀行東京支店 職員 廖 唯然 様
*台北駐日経済文化代表処横浜分処 渉外係 曹 葦如 様
*台北駐日経済文化代表処横浜分処 渉外係 垣 内 英則 様
*台湾新聞社 社長 銭 妙玲 様
*台湾新聞社 記者 黄 揚竣 様
*一般社団法人神奈川経済同友会 専務幹事 伊 藤 智則 様

- <会長報告> *ガバナー事務所より
・地区研修・協議会2021 受講の仕方について
4月18日(日) 13:00~15:00 【オンライン研修-1】
5月 8日(土) までに【オンライン研修-2】 My Rotaryラーニングセンターコースより受講

- <幹事報告> *例会終了後第3回被選理事役員会開催(例会場)

- <出席報告> *出席委員会 小平副委員長より4月16日の出席報告

会員数	出席対象者数	出席数(ZOOM出席数)	欠席数	メイクアップ数	出席率
118名	110名	79名(8名)	31名	3名	74.55%

<ニコニコ報告>

- ・伊藤智則様 大変ご無沙汰しております。横浜銀行在籍時は大変お世話になりました。今日皆様にお会いできるのを大変楽しみにしておりました。パイナップルも頂けてラッキーです。張さんいつものトーク期待しています。
- ・三 役 台北駐日経済文化代表処 横浜分処長 張 淑玲様他台湾関係の多くのゲストの皆様、ようこそ。卓話楽しみにしています。
- ・松本 朋、大石、立石、畑、木村、中村 備、椿、江口、高橋 倫、波島、鈴木 健、江沢、小平、高橋 倫、前川、福西、田邊、猿丸、長尾、上林、澤田、小佐野、兼城、前田、小沢、齋藤 倫、齋藤 眞 各会員
台北駐日経済文化代表処 横浜分処長 張 淑玲様はじめ台湾関係多くのゲストの皆様、ようこそいらっしゃいました。卓話楽しみにしています。
- ・田中、鈴木 健、角井、福西、梁井、徳永、齋藤 眞、齋藤 眞 各会員
甘い香り たくさんのパイナップルありがとうございました。
- ・三 役 一般社団法人神奈川経済同友会 専務幹事 伊藤智則様、ようこそ横須賀RCへ。
- ・Loknath、渡邊、瀬戸、高橋 倫、藤村、田邊、勝見、徳永、鈴木 健、根岸、齋藤 眞 各会員
一般社団法人神奈川経済同友会 専務幹事 伊藤智則様お久しぶりです。ようこそいらっしゃいました。例会をお楽しみください。
- ・鹿島 会員 水曜日に来校された5人の美魔女の方々に。
- ・濱田、小山 健 両会員 神奈川歯科大 鹿島理事長、貴重な体験をさせて頂きましてありがとうございました。
- ・岡田、八巻、鈴木 健、木村、中村 備、川出、加藤 倫、上林、濱田、勝間、山下、小山 健、齋藤 眞 各会員

プロゴルファー松山英樹選手「マスターズ」優勝おめでとう！グリーンジャケットがお似合いですね。

<卓 話> 「台湾モデル」と称賛される新型コロナ対策と台日関係の絆

台北駐日経済文化代表処 横浜分処

処長 張 淑 玲 (チョウ シュクレイ) 様

台北駐日経済文化代表処横浜分処長の張淑玲と申します。本日は台湾の新型コロナ対策と台湾と日本との絆などについてお話させていただきます。なお、皆様もご承知かと思いますが、4月から6月頃が旬で糖度が18度と高く、芯まで大変甘い台湾のパイナップルをお持ちしましたので、後ほど召し上がってください。



1. 台湾の概要

まず本題に入る前に台湾の概要をお話させていただきます。台湾は人口、面積では決して大きくありませんが、経済面では決して小さくありません。GDPは世界20位であり、新型コロナ対策が成功したこともあって直近の経済成長率は+3.11%と世界でもトップレベルです。実務外交面では、170か国に台湾パスポートはノービザで適用されるほか、APEC（アジア太平洋経済協力）やWTO（世界貿易機関）など多くの国際組織にも参加しています。また、WHO（世界保健機関）やCPTPP（環太平洋パートナーシップ）などに関する包括的及び先進的な協定への参加に対して日本からもたくさんの声援をいただいています。

2. 台日交流

日本から台湾への修学旅行者数は大変多く、2014年から5年連続訪問国第1位です。特に神奈川県からの修学旅行者は多く、県立高校の9割以上が台湾を修学旅行先を選んでいただいています。このように台湾を旅行先を選んでいただいている事由について、以前日本の高校生に調査したところ、景観が美しいあるいは食べ物が美味しいということではなく、「日本と台湾との過去の歴史の中で、日本人の方が台湾のダムなどのインフラ整備に尽力いただいたことなどの功績について、台湾の方が感謝していることを知ることができ、日本人としての誇りを感じることができた」といった感想が聞かれたところです。また、神奈川県や横須賀市との交流も盛んで、神奈川県議会と台湾の新北市議会が「姉妹議会覚書」を調印しているほか、横須賀市所在の神奈川歯科大学には多くの台湾留学生在籍し、教育していただいています（現在約80名在籍）。なお、スポーツの面でも横須賀の女子サッカーチームと台湾のサッカーチームが毎年交流しています。

3. 新型コロナへの政策

台湾の新型コロナ感染の抑え込みについては、世界の多くのマスメディアから奇跡といわれており、因みに、4月13日までの合計感染者数は1,062名、合計死者数は11名と極めて低い結果となっています。具体的な政策（台湾モデル）の初動についてお話すると、2019年12月の時点で台湾は中国・武漢市からの直行便に国境検疫を開始したほか、2020年1月にはマスクの輸出禁止、マスクの増産等を開始しました。また、「実名制マスク販売制度」を作ったほか、マスク生産の国家チームも結成しました（現在1,500万枚/日の生産能力）。また、日本でも有名なオードリー・タン（IT大臣）がマスクマップを作りましたが、これは台湾では2004年にマイカード制度を導入していたことが大きく寄与しています。このマイカード

を使って曜日の指定はありましたが薬局でマスクを購入できるため、マスクが買えないということが起こりませんでした。こうしたことから、台湾では日本をはじめ多くの国にマスクを寄贈することもできました。

台湾モデル成功の背景についてもう少し詳しくお話します。成功の鍵は、有事感覚とリーダーシップです。台湾にとって疫病の蔓延は有事です。まず有事感覚とは、「情報収集」、「迅速対応」、「大衆宣伝」、「指揮権の統一」であり、米国のCDC（疾病予防管理センター）を参考とした非常設の「中央感染症対策センター」を緊急に組織し、そのトップが指揮に当たり、毎日記者会見し情報の発信を行いました。このセンターは、2003年のSARSで181人の死亡者を出したという経験を活かし設立された組織です（この時日本はSARSの蔓延を経験していない）。次に蔡総統のリーダーシップです。台湾では、2019年の12月31日の深夜、CDCの職員が武漢の新型コロナ感染拡大の情報を発見し、翌1月1日の午前9時にそのレポートをまとめ衛生福利部（日本の厚生労働省に該当）に提出。同日の午後2時から緊急閣僚会議を開催し、武漢発のフライトの検疫強化などの対処方針を決定。WHOにも通知し、同日午後6時、行政院のスポークスマン（日本の官房長官に該当）が国民に向けて警戒を呼びかけました。

このように過去の経験を活かし、有事に機能する組織を作り、正確な情報収集と分析に基づくしっかりとした危機意識を組織とリーダーが共有し、その上でリーダーが的確・迅速に判断・情報発信（SNS時代に適合したプッシュ型の情報公開等も重要）したことが新型コロナへの政策が成功した背景といえます。

4. 台湾女性の進出

最後に、本日もこうして新型コロナ関係の卓話をさせていただいておりますが、最近私への講演依頼が多いテーマは女性の社会進出関係です。台湾では、蔡英文総統が2020年の選挙で総統に再選されましたが、得票数は817万票で過去最高でした。また、国会議員に占める女性比率は約42%、女性の県市長比率も37%とかなり高くなっています。各国議会連盟（IPU）の2019年11月調査によると、台湾の女性国会議員の当選比率（約42%）のランキングは16位で、アジアでは第1位です。因みに国際平均は約22%です。本日はご清聴ありがとうございました。



<閉会・点鐘> 13:30 岡田会長

週報担当 江口浩道